

ISO 9000:2026

Quality management — fundamentals and vocabulary

品質マネジメント—基本及び用語

1. ISO 9000 の目的、位置付け及び権限

ここに提示する概要説明は、公開済みの資料及び最終草案に基づいており、文書化された ISO 9000:2026 の構成と内容を反映したものです。規格及び関連する ISO 文書に明示されている意図を超える解釈を付与するものではありません。

ISO 9000 は、品質マネジメントの基本及び用語を定めており、ISO 9001 や ISO 9004 などを含む ISO 9000 ファミリー規格に共通する概念上及び言語上の参照基準を提供しています。

経験豊富な実務担当者にとって、ISO 9000 は、相互に関連しつつも区別される 3 つの機能を果たします。

- ISO/TC 176 が担当する規格全体で使用される用語の合意された定義を提供します
- 品質マネジメントの実践を支える基礎的な概念及び原則を明確に示します
- 組織、監査員、適合性評価機関、及び認定機関の間において整合した解釈とコミュニケーションを可能にします

その役割はあえて限定されています。ISO 9000 は:

- それ自体には要求事項を含みません*
- 監査の対象ではありません
- 組織の行動を規定するものでもありません

*注記: 引用規格として使用される場合、用語は要求事項の一部となります。

このように、ISO 9000 ファミリー規格の概念的な基盤を提供しています。組織は ISO 9000 に適合はしません。ISO 9001 をどのように解釈し適用するかを理解するために、ISO 9000 を参照します。

2026 年改訂版でも、この役割は変更されることなく維持されています。

2. 文書名の変更と適用範囲の再設定

文書名から「management systems マネジメントシステム」が削除されたことは、適用範囲の実質的な変更というよりは、この文書が自らをどのように位置づけるかを明確にしたことを示しています。

この変更は、次の 3 つの観点から解釈することができます。

- **記述の正確性**

ISO 9000 の内容は、常にシステム構築の枠を超えて、より広範な概念的な内容を含んできました。改訂された文書名は、これを明確にしています。

- **概念と要求事項の分離**

「システム」という文言を避けることで、ISO 9000 は、要求事項規格である ISO 9001 との役割の違いをより明確にしていると言えます。

- **実務との整合性**

実際には、品質マネジメントは多くの場合、正式なシステム、リーダーシップの行動、そして組織的な慣行の組合せを通じて適用されます。改訂された文書名は、形式を規定することなく、これに対応しています。

したがって、この変更は方向転換ではなく、明確化として解釈されるべきでしょう。

3. 構成の再編成 – 意図と効果

ISO 9000:2026 の再構成は、編集上の規則と使いやすさの両方を配慮したものです。

3.1. ISO 起草規則との整合

引用規格 (Normative references) を箇条 2 に移し、基本 (fundamentals) の位置を変更することで、ISO 9000 は ISO/IEC 専門業務用指針との整合が図られています。これは、規格間の一環性を支え、規格に精通する読者にとっての使いやすさが向上します。

3.2. 概念的なナビゲーション

箇条 4 に「基本」を配置することで、この規格は次のことが可能になります。

- 中核となる考え方をより明確に示します
- 基本の概念と補助的な概念をより明確に区別します
- 旧版で見られた断片化を軽減します

3.3. 基本概念と追加概念

この区別によって、ある程度、概念的な階層構造が生じます。

- 基本概念は、品質マネジメントにとって不可欠なものを示します
- 追加概念は、文脈、解釈、及び現代の実践との関連性を提供します

これは規範としての重要度を階層化しようということではありませんが、特にトレーニングやコミュニケーションを目的とするときには、明確性が向上します。

4. 品質マネジメントの基本 – 継続性と明確化

ISO 9000:2026 は、品質マネジメントのすでに確立している原則を変更することなく維持しています。

変わったのは、これらの原則と関連する概念が表現される際の明確さです。

4.1. 表現の改善

改訂された本文は:

- 原則の記述における曖昧さを軽減し、
- 言語の内部的な統一性を強化し、
- 概念間の関係をより明示的に示します。

4.2. 新たに浮上してきたテーマと文脈的テーマの扱い

次のような概念

- 組織文化
- 倫理的行動
- 組織の知識

- 利害関係者との関係性

は、現在の慣行と期待を反映した形で言及されています。

しかし、ISO 9000:2026 では、これらに影響を及ぼす要素として位置づけるにとどめており、以下のようなものと見なさないように注意しています。

- 追加の原則
- 要求事項、または
- 監査基準

この区別は、技術的な整合性を維持するうえで極めて重要です。

4.3. 解釈に与える影響

関係性をより明確にすることにより、この改訂は品質マネジメントのより統合的な解釈を促し、過度に手続き的または断片化されたアプローチに陥る可能性を低減します。

5. 用語 – 単なる整理整頓を超えて

ISO 9000 は定義をまとめた参照一覧として扱われがちですが、2026 年改訂版では、用語はシステムの整合性を維持する役割を果たしていることが示されています。

5.1. 変更の性質

更新内容は以下のとおりです。

- 正確な表現のための文言の精緻化
- 曖昧さや循環論法の排除
- ISO 9001:2026 との整合
- ISO/TC 176 の成果物全体における用語の一貫性

5.2. なぜそれが重要なのでしょうか

文言の小さな変更でも、次のような影響があります。

- ISO 9001 の要求事項をどう解釈するかに影響を与える

- 監査の一貫性に影響を与える
- 重要な概念 (例: リスク、力量、改善) に関する組織の理解を方向付ける

したがって、ISO 9000:2026 は、グローバルな品質コミュニティ全体で解釈を安定させるという、目立たないながらも重要な役割を果たしていると言えます。

6. 図表とシステム思考 (附属書 A)

改訂された図は、概念間の関係をより分かりやすく視覚化しています。

その目的は以下の通りです。

- 直線的なシーケンス (順序) ではなく、相互依存関係を示す
- 説明及びコミュニケーションをサポートする
- 品質マネジメントは各要素が相互に結び付いたシステムとして機能するという考えを強化する

これらはいくまで参考情報であり、規範的な拘束力はありません。

7. ISO 9001:2026 との関係 – 実務的な解釈

ISO 9000 と ISO 9001 は併せて読むべきですが、使い方は異なります。

- ISO 9001 は、**組織は何を行う必要があるかを**規定している
- ISO 9000 は、**主要な用語や概念が何を意味するかを**説明している

2026 年の改訂では、以下の事項によりこの関係がより強化されています。

- 用語の整合性をこれまで以上に高める
- 解釈のばらつきが生じる余地を減らす

これは特に次の対象にとって重要です。

- 統一性を求める認証機関
- 複数の法域にまたがって事業を行う組織
- 複雑な状況において判断を下す監査員

8. ISO 9000:2026 が対応しないこと

文化、倫理、利害関係者の期待がますます重視される中、次の点を明確に述べることが重要です。ISO 9000:2026 は:

- 新たな監査対象領域を生じさせるものではなく、
- ISO 9001 で要求されている場合を除き、概念に関する証拠を組織が示すことを求めず、
- 認証の適用範囲を拡大するものでもなく、
- 評価基準を導入するものでもない。

これらのけじめは、一貫性があり公正な適合性評価を維持するために不可欠です。

9. 品質の専門家と監査員にとってどのような意味合いがあるのか

9.1. 品質の専門家にとってどのような意味合いがあるのか

ISO 9000:2026 は、品質マネジメントをどのように管理するかではなく、品質マネジメントをどのように理解し、説明するのかについて役立ちます。

品質の専門家は次のことを行う必要があります:

- 改訂された構成を活用して、社内研修やコミュニケーションを改善する
- 手順やシステムで使用される用語が統一され、かつ最新であることを確認する
- ISO 9001 の要求事項の背後にある意図を、リーダーが理解できるよう支援する
- 概念的な内容を、不必要なプロセス変更や文書変更に落とし込んでしまわないようにする

重点は、システムの維持から概念の明確さと整合性へとやや移行しています。

9.2. 監査員にとってどのような意味合いがあるのか

監査員にとって、この改訂はこれまでと同じ約束事をあらためて強化するものです。

- 監査は ISO 9001 の要求事項に対してのみを行う
- ISO 9000 は意味の曖昧さを解消するために用いる

- 解釈と思い込みの間に明確な境界を維持する

実務においては、ISO 9000:2026 は次のことを支援します。

- 監査員間での認識の整合性の向上
- より根拠に基づく監査結論の導出
- 拡大解釈をするリスクの低減

9.3. 両グループにとっての意味合い

今回の改訂では、以下の点が重要視されています。

- 専門家としての判断
- 言葉の正確な使用
- 規格の厳格な解釈

10. まとめ

ISO 9000:2026 は、控え目で改訂範囲が限定された改訂版です。ISO 9001:2026 は:

- 拡大するものではなく、明確化するものあり
- 再定義するものではなく、整合させるものあり
- 指示するものではなく、支援するものです

ISO 9000 が担う主な役割は、品質マネジメントに対する期待が進化し続ける中で、ISO 9000 ファミリーに対して、より明確で一貫性のある概念的基盤を提供することです。

ほとんどの組織にとって、ISO 9000 の影響は間接的なものですが、実務担当者や監査員にとって ISO 9000 は品質マネジメントを理解し、適用し、評価するための、より正確な言葉を提供するものです。